授業科目名・形態	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	田中　誠	実務経験の有無	有	開講期	2 年生前期
科目ナンバリング	W3-2017s(c)R				

「授業の主題

本講義では日本におけるソーシャルワーカーとして位置づけられる社会福祉士及び精神保健福祉士、ならびに関連専門職の役割やその意義および連携の重要性を理解することを目的とする。特にソーシャルワークの理念に基づく総合的かつ包括的な支援の在り方、その基盤となる理論について学習する。

「到達目標」

ソャルワーク実践における行動規範、あるべき視座を習得することを目標とし、これまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらに国家試験をも視野に入れた講義も試みたい。

「授業計画・内容」

第　１回　オリエンテーション（講義の内容、進め方、評価方法など）
第　２回　社会福祉士の定義と義務
第　３回　社会福祉士と精神保健福祉士の専門性（類似と相違）
第　４回　ソーシャルワークの原理
第　５回　ソーシャルワークの理念
第　６回　ソーシャルワーク専門職の概念と範囲
第　７回　社会福祉士の職域と役割
第　８回　ソーシャルワーカーの諸外国の動向
第　９回　ミクロ、メゾ、マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象
第１０回　ミクロ、メゾ、マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開
第１１回　総合的かつ包括的支援におけるジェネラリストの視点
第１２回　総合的かつ包括的支援の意義と内容
第１３回　多職種連携及びチームアプローチの意義と内容
第１４回　アセスメントの意義と内容
第１５回　まとめ

「授業実施方法」 講義形式、主体的に授業に参加すること、質問もその都度行うので、考える授業にする

「授業の事前・事後学習」事前に教科書を読んでおくこと、アンダーラインを引いたところを復習すること

「関連する科目」 ソーシャルワークの理論と方法

「教科書等」 最新社福、精神、養成講座「１１　ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規

「参考文献」随時、講義の中で紹介する

「成績評価方法」筆記試験８０％、授業態度２０％などで総合的に判断する

「実務経験及び実務を活かした授業内容」

４０年以上の実務経験で様々な相談援助を実践しており、あらゆる場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい

「学生へのメッセージ」

本講義は社会福祉専門職の視座、技術、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。社会福祉士を目指す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。